

合歡の木を庭に植ゑんと、妻にいひて、
ひとり、さびしく、
その陰をおもふ。



歎びをともにするという合歡の木を、庭に植えようと妻に言ったのに、
顔を曇らせたその妻の心の裡を思うとき、わたしは独りさびしかつた。